

委員会, 委員 (2020年4月～2020年9月)
陶器浩一, 日本建築学会 大会建築デザイン発表会運営委員会 委員長
陶器浩一, (一社) 日本建築設計学会 理事、監事
陶器浩一, 日本建築学会賞(業績部会) 審査委員
轟慎一, 日本造園学会校閲委員 (2020年)
轟慎一, 滋賀大学経済学部出版助成審査員 (2020年)
永井拓生, 日本建築学会・構造委員会シェル空間構造形態創生小委員会, 委員, 2007～
永井拓生, 日本建築学会・構造委員会シェル空間構造形態創生小委員会, 幹事, 2015～
永井拓生, 日本建築学会・構造委員会シェル空間構造運営委員会, 委員, 2015～
永井拓生, 日本木材学会・木材学会誌, 論文査読, 2020～2021
村上修一, 日本造園学会・学術委員会, 委員 (2020年4月～2021年3月)
村上修一, 日本造園学会・企画委員会, 委員 (2020年4月～2021年3月)
村上修一, 日本造園学会・関西支部運営委員会, 副支部長 (2020年4月～2021年3月)
村上修一, 日本造園学会全国大会・学生コンペ, 審査委員 (2020年5月)
山崎泰寛, 日本建築学会, 建築論・建築意匠小委員会, 建築論事典改定WG, 2018年度～
山崎泰寛, 日本建築学会, 技術報告集査読委員, 2020年度

3) 国際貢献・海外調査など

金子尚志, Lecture of Passive Design Strategy, Vietnam Ho Chi Minh City Architects office, 2020.10

4) その他

永井拓生, 審査員, Diploma × Kyoto' 21 京都建築学生之会 合同卒業設計展, 京都市勧業館みやこめっせ 3F 第3展示場, 2021. 2. 28.

11. マスメディアとの対応

1) 新聞, 雑誌等からの取材による記事
芦澤竜一, 建モノがたり (セトレマリーナびわ湖ミュージックホール) 2020年11月10日
白井宏昌 (2020) 「野洲市さくら墓園合葬式施設」読売新聞, 2020年4月3日
白井宏昌 (2020) 「野洲市さくら墓園合葬式施設」京都新聞, 2020年4月11日
白井宏昌 (2020) 「彦根麦酒荒神山醸造所」彦根新聞, 2020年9月30日
白井宏昌 (2020) 「彦根麦酒荒神山醸造所」京都新聞, 2020年10月1日

2) TV, ラジオ番組への出演等

芦澤竜一, 「建築家のアスリートたち」MUSIC BIRD, 2020年10月9日
白井宏昌 (2020) 「デジタルは建築を変えています第1～3回」トレジャーデータ株式会社 PLASMA TALK, 2020年5月11, 12, 13日, <https://www.treasuredata.co.jp/blog/article-introduction-architect-shirai/>
陶器浩一, インターネットテレビ「岸和田 TV MODE」 2020. 10.27

3) その他

永井拓生 (2020), 早稲田大学創造理工学部建築学科・建築学専攻 OB インタビュー, 2021年4月同大学 Web サイトで公開予定, 2020. 8.

生物資源管理学科

1. 受賞

中澤利恵, 田中玲桐, 畑直樹, 南川久人, 原田英美子 (2021) 日本農芸化学会 2021年度大会 トピックス賞. 切り花の鮮度保持におけるナノバブルの作用機構. (2021年3月19日～21日, オンライン).

2. 著書

Okubo, T., Sato, Y. (2020) Issues for Reduction of Pollution Loads from Point and Non-point Sources, in Lake Biwa 2nd edition (Kawanabe, H., Nishino, M., & Maehata, M. Eds.) , 541-548, Springer Science & Business Media.

3. 論文

Date, S., T. Ogawa, K. Matsuura, N. Hata and S. Terabayashi (2020) Effects of day length and air temperature fluctuation on the occurrence of leaf browning in sesame seedlings cultured in a plant factory under artificial light. *Environmental Control in Biology* 58: 37-42.

畑直樹, 徐海竜 (2020) 日長および施用窒素形態が植物工場環境におけるリーフレタスの生育ならびに培養液 pH 変化に及ぼす影響. *植物環境工学* 32: 143-152.

畑直樹, 徐海竜 (2020) 照射時間および施用窒素形態が植物工場環境におけるリーフレタスの内容成分に及ぼす影響. *植物環境工学* 32: 191-200.

Hata, N. and H. Futamura (2020) Production of soybean plants for hydroponic cultivation from seedling cuttings in a medium containing *Rhizobium* inoculum depending on various concentrations of nutrient solution and different nitrogen sources. *Journal of Horticultural Research* 28: 71-82.

畑直樹, 川村桃子 (2021) 培養液濃度が水耕栽培した伊吹在来ヨモギの生育および含有成分に及ぼす影響. *生薬学雑誌* 75: 41-46.

Ohtsuka, T., T. Onishi, S. Yoshitake, M. Tomotsune, M. Kida, Y. Iimura, M. Kondo, V. Suchewavorio-int, R. Cao, K. Kinjo, N. Fujitake (2020) Lateral export of dissolved inorganic and organic carbon from small mangrove estuary with tidal fluctuation toward complete net ecosystem production (NEP) estimate. *Forest*, 11 (10) , doi.org/10.3390/f11101041

Masumoto, S., R. Kitagawa, K. Nishizawa, T. Osono, M. Hasegawa, Y. Iimura, S. Matsuoka, R. Kaneko, M. Uchida, A. S. Mori (2020) Integrative assessment of the effect of shrub coverage on soil respi-

ration in a tundra ecosystem. *Polar Science*, doi.org/10.1016/j.polar.2020.100562

Iimura, Y., D. Tanaka, S. Nagao, N. Fujitake, T. Ohtsuka. (2020) The mineralization rate of black carbon in the deep layers of Japanese volcanic ash soil may be easily accelerated by labile carbon supply. *Soil Science and Plant Nutrition*, 66, 415-420.

Yamane, K., Y. Fudano, N. Takao, T. Sugiyama, Y. Izumi, H. Daimon, H. Tsuji, N. Murakami and M. Iijima. 2020. The crack fertilization technique effectively increases soybean production in upland fields converted from paddies. *Plant Prod. Sci.* 23: 397-406.

皆川明子, 若宮慎二, 竹下邦明, 佐川志朗, 河口洋一, 村瀬潤, 都築隆禎, 深澤洋二, 江崎保男 (2020) 水田への魚類の遡上を促す遡上板の開発, *応用生態工学* 23 (1) : 79-84.

Mori Y., A. Tanaka, T. Nakagawa, Y. Amen, Y. Kuwano, Y. Tanizaki, S. Tomokiyo and K. Shimizu (2020) Isolation and quantification of the plant growth regulator 1-triacontanol from Moso bamboo (*Phyllostachys pubescens*) shoe skin and its compost, *Agriculture and Forestry* 66: 81-93.

Sun M., T. Nakashima, Y. Yoshimura, A. Honden, T. Nakagawa, H. Saijo, Y. Watanabe, T. Ajimi, S. Yasunari, Y. Yamada, J. Nagano, T. Okamoto, H. Ishikawa, K. Ohnuki, N. Fujimoto and K. Shimizu (2020) Effects and interaction of different interior material treatment and personal preference on psychological and physiological responses in living environment, *Journal of Wood Science* 66: 63 <https://doi.org/10.1186/s10086-020-01910-2>

Oku M, C. Inoue, S. Hieda, N. Noma and T. Nakagawa (2020) Chemical composition and in vitro ruminal digestibility of *Ludwigia grandiflora*, *Animal Science Journal* 92 (1) : e13509

Kikushima K., T. Nakagawa, K. Shimizu and K.

Ohnuki (2020) Regular intake of Japanese traditional rice fermented beverage, kojiamazake for 4 weeks decreased systolic blood pressure-A randomized, double-blind, placebo-controlled, parallel-group comparative study-, Japanese

pharmacology and Therapeutics 48 (2) : 305-312
 谷口美優紀, 山根啓太郎, 中川敏法 (2021) 靈芝 (*Ganoderma lingzhi*) 廃菌床の給与がヤギの反芻行動に及ぼす影響, 日本山羊研究会誌 1号 : 24-29.

Ishizaki, D., Nagata, T., Kikko, T., Mizuno, T., Ida, C., Okubo, T., Yodo, T. (2021) Juvenile migration of Japanese dace *Pseudaspius hakonensis* revealed in a tributary of Lake Biwa with seasonal changes in abundance and stable isotope ratios, *Ichthyological Research*, 1-10.

皆川明子, 中林真由, 藪田暢也, 饗庭俊, 大久保卓也 (2020) 排水路の魚溜工における施工後3年間の土砂堆積状況, 農業農村工学会論文集, 88 (1) , I_77-84.

Ichihara, M., A. Yamamoto, N. Kakutani, K. Funasaka, M. Sudo (2020) Hexabromocyclododecane in riverine and estuarine sediments from Osaka, Japan: spatial distribution and concentration variability within identical samples, *Environmental Science and Pollution Research* 27, 35782–35791.

Takakura, K.I. and T. Inoue (2020) Quantitative estimation of reproductive interference between two alien pillbugs introduced into Japan. *Japanese Journal of Environmental Entomology and Zoology* 31: 43-50.

Nakanishi, K., A. Honma, M. Furukawa, K.-I. Takakura, N. Fujii, K. Morii, Y. Terasawa, T. Nishida (2020) Habitat partitioning of two closely related pond frogs, *Pelophylax nigromaculatus* and *Pelophylax porosus brevipodus*, during their breeding season. *Evolutionary Ecology* 34: 855–866.

Nashima, K., K. Shirasawa, A. Ghelfi, H. Hirakawa, S. Isobe, T. Suyama, T. Wada, T. Kurokura, T. Uemachi, M. Azuma, M. Akutsu, M. Kodama, Y. Nakazawa and K. Namai. (2021) Genome sequence of *Hydrangea macrophylla* and its application in analysis of the double flower phenotype, *DNA Research* 28: doi.org/10.1093/dnares/dsaa026.

4. 作品

なし

5. 報告書, その他著作, 一般向け記事

1) 科研費他外部研究費による研究の成果報告書

飯村康夫, 泉津弘佑, 藤嶽暢英. プライミング効果による土壌炭素分解: 温暖化応答メカニズムの解明. 科研費 (基盤 C) 報告書.

大久保卓也, 後藤直成, 山口晟司, 王 俊函, 小林太地 (2020) 令和元年度 教育研究高度化促進費成果報告書「貧栄養化が進行する琵琶湖における生態系変化と漁業への影響把握」, pp.14.

2) 受託研究等の報告書

入江俊一 (2021) 岐阜県森林研究所 令和元年度共同研究完了報告書. 岐阜県内食用キノコの増収と品質保持及び機能性成分増量技術等の開発.

岩間憲治 (2020) 受託研究報告書、滋賀県蒲生郡竜王町の酒米生産圃場の土壌・用水環境.

3) ハンドブック, 辞典, 図鑑などへの執筆

なし

4) 新聞, 一般向け雑誌等への解説記事など

畑直樹 (2020) ニュースレター, 養液栽培研究会 編 61: 12.

畑直樹 (2020) ニュースレター, 養液栽培研究会 編 62: 11-12.

高倉耕一 (2020) 研究における剽窃とそのチェックツールについて. *環動昆* 31: 143-148.

高倉耕一 (2020) ポスト p 値時代をどう迎えるか: 教育課程と学会の役割. *環動昆* 31: 27-31.

6. 学会等への発表

原田英美子, 中島優介, 久保直輝, 田畑諒一, 大槻達郎, 首藤光太郎, 野間直彦, 綱本良啓, 陶山佳久, 水野瑞夫, 玉木一郎 (2020) 伊吹山に分布するイブキノエンドウの遺伝子情報を用いた移入経路の解明. 日本植物学会第 84 回大会. (2020 年 9 月 19 日~ 21 日, オンライン)

- イン).
- 奥井啓介, 市之瀬智生, 黒沢高秀, 永川栄泰, 長谷川博, 保倉明子, 原田英美子 (2020) 沈水植物オオカナダモに集積するマンガン酸化物-植物に付着する微生物の評価と放射光による化学形態分析-. 日本植物学会第84回大会. (2020年9月19日~21日, オンライン).
- 原田英美子 (2020) ポストコロナ時代の研究倫理教育. 第43回日本分子生物学会大会. (2020年12月2日~4日, オンライン).
- 原田英美子, 池上徹 (2020) ポストコロナ時代の研究倫理教育-効果的な遠隔講義の立案に向けて-. 日本科学者会議 (JSA) 第23回総合学術研究集会. (2020年12月5日, オンライン).
- 稗田真也, 渡部俊太郎, 小崎和樹, 原田英美子, 野間直彦 (2021) 日本に侵入した特定外来生物オオバナミズキンバイのクローン構造について. 日本植物分類学会第20回大会 (2021年3月8日~10日, オンライン).
- 原田英美子 (2021) 研究倫理教育プログラムの効果的な遠隔講義化の試み. 第62回日本植物生理学会年会 (2021年3月14日~16日, オンライン).
- 中澤利恵, 田中玲桐, 畑直樹, 南川久人, 原田英美子 (2021) 切り花の鮮度保持におけるナノバブルの作用機構. 日本農芸化学会2021年度大会 (2021年3月19日~21日, オンライン).
- 飯村康夫, 田中大地 (2020) 埋没クロボク土層におけるプライミング効果: グルコースおよび無期態窒素添加の影響. 日本土壌肥料学会, 岡山オンライン (2020年9月14~9月16日).
- 田中大地, 飯村康夫 (2020) プライミング効果を考慮した埋没黒ボク土における分解温度依存性: グルコース添加を例に. 日本腐植物質学会, 神戸オンライン (2020年11月18日).
- 平田麻菜, 村上雄一郎, 谷田悠一, 本田与一, 中沢威人, 泉津弘佑, 鈴木一実, 入江俊一 (2020) PKAc 遺伝子の破壊がヒラタケ木質分解に与える影響. 日本菌学会第64回大会, 要旨提出のみ (2020年6月19日~21日).
- 岡野智広, 岩間憲治, 松田壮顕, 中村公人: 水稲栽培における AWD 適用時のメタン排出量の変化. 2020 年度農業農村工学会大会講演会, 鹿児島市, (2020年8月25日).
- 松田壮顕, 中村公人, 岡野智広, 岩間憲治, 濱武英: イネのポット栽培における地下排水に伴うメタン放出特性. 2020 年度農業農村工学会大会講演会, 鹿児島市, (2020年8月25日).
- 西尾蒼月, 泉津弘佑, 吉田裕史, 北出雄生, 吉見啓, 田中千尋 (2021) Bipolaris maydis における付着器形成のための MAP キナーゼ経路ネガティブレギュレーター Dsp2 の機能解析. 令和3年度日本植物病理学会大会, オンライン (2021年3月17日~3月19日).
- 加藤恵里 (2020) 今後の野生鳥獣害対策と野生動物管理: 農山村社会の変化に着目して. 林業経済学会2020年秋季大会, オンライン, (2020年12月1~6日).
- 姫野敦行, 皆川明子 (2020) 魚類の生息場として適した曲り桝の取り付け方の検討. 2020 年度農業農村工学会大会講演会, Web 開催 (2020年8月25~27日) (要旨掲載).
- 采野大樹, 皆川明子 (2020) 甲良町の農業水利システムにおける水不足状態の実態解明. 2020 年度農業農村工学会大会講演会, Web 開催 (2020年8月25~27日) (要旨掲載).
- 大久保卓也, 小林太地, 山口晟司, 王俊函 (2021) 琵琶湖の定置網 (エリ網) の付着物増加原因の検討. 日本水環境学会年会, オンライン開催 (京都大学) (2021年3月10~12日).
- 大久保卓也, 閻雨佳, 王俊函, 青木優太, 小林佑, 須戸幹 (2020) ニゴロブナの孵化および仔稚魚に対する除草剤・農業濁水の影響. 日本魚類学会年会, オンライン開催 (2020年10月31日~11月1日).
- 安部学, 小梶裕之, 齋藤大樹, 西村和紗, 清水顕史, 中川博視, 矢部志央理, 中野龍平, 間合絵里, 元木航, 永野惇, 中崎鉄也 (2020) イネ品種台中65号の出穂日はBVPにおける日長条件によって変化する. 日本育種学会第138回講演会, オンライン開催 (2021年10月11日).
- 小梶裕之, 齋藤大樹, 西村和紗, 矢部志央理, 清水顕史, 中川博視, 永野惇, 中崎鉄也 (2021)

- 低温による BVP から PSP への相転換の遅延に関する分子機構の解明, 日本育種学会第 139 回講演会, オンライン開催 (2021 年 3 月 19 日).
- 西村和紗, 小梶裕之, 齊藤大樹, 矢部志央理, 山崎将紀, 吉田ひろえ, 清水顕史, 永野惇, 中川博視, 中崎鉄也 (2021) イネ出穂・開花関連遺伝子の遺伝子型情報を活用した発育予測モデル, 日本作物学会第 251 回講演会, オンライン開催 (2021 年 3 月 29 日).
- 勝保奈実, 須戸幹 (2021) 水陸両生の侵略的外来植物に散布される非選択性除草剤の水環境中での残留特性, 第 55 回日本水環境学会年会講演 要旨集 pp233, 京都市 (2021 年 3 月 10 ~ 12 日 WEB 開催)
- 市原真紀子, 浅川大地, 山本敦史, 須戸幹 (2021) 環境水中における残留移動性有機化合物ジフェニルグアニジンの分析法の検討, 第 55 回日本水環境学会年会講演 要旨集 pp364, 京都市 (2021 年 3 月 10 ~ 12 日 WEB 開催)
- 住田卓也, 須志田浩稔, 東佑実子, 中川博之, 飯田祐一郎 (2020) 菌寄生菌 *Dicyma pulvinata* と麴菌 *Aspergillus oryzae* が分泌するセスキテルペン deoxyphomenone の機能, 令和 2 年度日本植物病理学会関西支部会, 松江市オンライン (2020 年 11 月 7 ~ 8 日).
- 前田和弥, 住田卓也, 須志田浩稔, 中川博之, 飯田祐一郎 (2021) 菌寄生菌 *Dicyma pulvinata* と麴菌 *Aspergillus oryzae* が分泌する抗菌性物質 deoxyphomenone の孢子形成における役割, 令和 3 年度日本植物病理学会大会, 津市オンライン (2021 年 3 月 17 ~ 19 日).
- 森井清仁, 網野可菜, 高倉耕一 (2021) 異性間および同性間の性的な種間相互作用: シマドジョウ属 2 種における事例. 第 68 回日本生態学会大会. オンライン (2021 年 3 月 17 ~ 21 日).
- 佐々木謙昌, 高倉耕一 (2021) ネジバナの巻き型多型の空間分布解析. 第 68 回日本生態学会大会. オンライン (2021 年 3 月 17 ~ 21 日).
- 高倉耕一 (2020) 盗用チェックツールの必要性・有用性・現状. 第 32 回日本環境動物昆虫学会年次大会. オンライン (2020 年 11 月 28 ~ 29 日).
- 森井清仁, 網野可菜, 高倉耕一 (2020) スジシマドジョウ類 2 種間の性的相互作用の実証. 第 32 回日本環境動物昆虫学会年次大会. オンライン (2020 年 11 月 28 ~ 29 日).
- 長山進也, 高倉耕一 (2020) アリ散布植物イヌノフグリの種子は種子食者オオズアリからの捕食を免れるか. 第 32 回日本環境動物昆虫学会年次大会. オンライン (2020 年 11 月 28 ~ 29 日).
- 岩澤美穂, 高倉耕一 (2020) モンクロシャチホコの幼虫の壁に上る行動と寄生バエの宿主操作の意義. 第 32 回日本環境動物昆虫学会年次大会. オンライン (2020 年 11 月 28 ~ 29 日).
- 森井清仁, 高倉耕一 (2020) 野外におけるオオガタスジシマドジョウの繁殖行動. 2020 年度日本魚類学会年会. オンライン (2020 年 10 月 31 日 ~ 11 月 1 日).
- 村上将希, 上町達也, 藤井伸二, 伊東拓朗, 松尾歩, 陶山佳久, 牧雅之 (2021) ヤマアジサイ (広義) および近縁種ガクアジサイにおける遺伝的分化と分布変遷, 日本植物分類学会第 20 回大会, (2021 年 3 月 8 日 ~ 3 月 10 日, オンライン開催).
- 大西将史, 肥田嘉文, 上町達也 (2021) 外観上の生長が見られない部位を含む野草の変異原性の観察的記述. 第 55 回日本水環境学会年会, 京都市 (2021 年 3 月 10 日, オンライン開催).
7. 研究会等, 講演会, 特別講義での発表
- 1) 研究会等における発表
- Harada E, T. Uemachi (2021) Establishment of remote training course on cultivation. 4th UST-USP Symposium. (2021 年 3 月 4 日 ~ 5 日, オンライン).
- Urabe M, K. Taki, N. Kaneko, E. Harada, T. Sumita (2021) An example of remote field lecture of environmental science for 1st-year students of the USP. 4th UST-USP Symposium. (2021 年 3 月 4 日 ~ 5 日, オンライン).
- Harada E, A. Hokura, Y. Abe, M. Suzuki, T. Okubo, T. Kusano, M. Nemoto (2021) Production and char-

acterization of freshwater pearls in Lake Biwa. 4th UST-USP Symposium. (2021年3月4日～5日, オンライン).

Okui K., T. Ichinose, T. Kurosawa, Y. Nagakawa, H. Hasegawa, A. Hokura, E. Harada (2021) Manganese oxides accumulated in submerged plant *Egeria densa* – evaluation of epiphytic bacteria and synchrotron radiation-based characterization of Mn. 4th UST-USP Symposium. (2021年3月4日～5日, オンライン).

Nakazawa, R., A. Tanaka, N. Hata, H. Minagawa and E. Harada (2021) Mechanism of ultra fine bubble (UFB) in retaining freshness of cut flowers. 4th UST-USP Joint Symposium. オンライン開催 (2021年3月4日～3月5日).

Nakagawa T. (2020) Feeding functional resources for increasing value of livestock products. Asian Natural Product Conference, Fukuoka (Online) JAPAN (May 21st 2020).

大久保卓也, 王 俊函, 閻 雨佳, 青木優太, 小林 佑, 須戸 幹 (2020) 農薬と農業濁水の水生動物への影響評価. 第11回琵琶湖地域の水田生物研究会, オンライン開催 (2020年12月20日).

清水顕史 (2021), イネの栄養ストレス耐性遺伝子の解析と発現遺伝解析, ムーンショット型農林水産研究開発事業・課題1ミーティング, オンライン開催 (2021年1月6日).

Nagayama, S., K.-I. Takakura (2021) Does myrmecochorous plant *Venoria polita* var. *lilacina* avoid its seeds from the predation by granivorous disperser ant *Pheidole nodi*? The 4th UST-USP Joint Symposium. Online (2021年3月4～5日).

2) 講演会

なし

3) 授業

原田英美子 (2020) 織田信長の薬草園の謎に迫る. 滋賀県レイカディア大学草津校後期必修講座, 草津市 (2020年10月23日).

須戸 幹 (2021) 彦根東高等学校 SSH 事業「サイエンスフェスティバル I」講師, 彦根東高校,

(2021年3月31日).

8. 展覧会等

なし

9. 競争的研究資金の導入

1) 本学特別研究

畑直樹. 底面給水を利用した簡易砂栽培に関する研究. 教育研究高度化促進費 (提案課題研究), 令和2年度, 48万円.

飯村康夫, 須戸 幹, 増田清敬, 皆川明子, 籠谷 泰行, 尾坂兼一. 教育研究高度化促進費 (特定課題研究), バイオ炭を活用した次世代型水田稲作農法: 生態系サービスの向上を目指して, 令和2～4年度, 150万円.

入江俊一. 琵琶湖周辺に生息する草本植物の発酵処理を目指した新規きのこ株の開発. 教育研究高度化促進費 (提案課題研究), 令和2年度, 100万円.

2) 科学研究費補助金

原田英美子, 永川栄泰, 保倉明子, 黒沢高秀. 基盤研究 (C), 平成31年～令和3年度, 80万円.

南川久人, 安田孝宏, 原田英美子, 畑直樹. フェインバブルを用いた水耕栽培による植物育成の効果. 基盤研究 (C), 令和2年度, 15万円.

飯村康夫. 温暖化インパクトを包括的に考慮した土壌炭素応答解析: プライミング効果に着目して. 基盤研究 (C), 令和2～4年度, 180万円.

本田与一, 入江俊一. 木材腐朽菌と酵素法の併用が拓く安価で安心安全なバイオ医薬品の製造. 挑戦的研究 (萌芽), 令和元年～2年度, 195万円.

飯嶋盛雄, 泉 泰弘, 根粒着生制御と混作の協働による水田転換畑, 基盤研究 (C), 令和2～4年度, 40万円.

泉津弘佑. 遺伝子破壊手法を用いた外生菌根菌ホンシメジの共生メカニズムの解明, 基盤研究 (C), 令和2～4年度, 130万円.

増田清敬. 有機農業のバイオエコノミックモデル分析と環境農業直接支払いの政策評価, 基

盤研究 (C), 令和 2 ~ 4 年度, 20 万円.

中島正裕, 角道弘文, 廣瀬裕一, 皆川明子. 「批判的継承」による農業水利環境ストックの利用・管理システム再構築, 基盤研究 (C), 平成 30 年度~令和 3 年度, 11 万円.

前田滋哉, 皆川明子. 底質変動と魚類の餌資源分布に基づく環境配慮工の価値評価と適応型管理への応用, 基盤研究 (B), 令和 2 ~ 4 年度, 50 万円.

南育子, 中川敏法. タンパク質立体構造からの食物アレルギー抗原性の調理・加工による変化の予測と評価. 基盤研究 (C), 令和 2 年~令和 5 年度, 80 万円.

清水顕史. 低肥料環境の収量性限界突破に寄与するイネ遺伝子座および座間相互作用の解析, 基盤研究 (C), 2018 ~ 2020 年度, 70 万円 (2020 年度).

住田卓也. 植物病原菌におけるユビキチン・プロテアソーム系を介した病原性制御機構の解明, 研究活動スタート支援, 令和 2 ~ 3 年度, 110 万円.

高倉耕一, 吉山浩平, 吉山洋子. 競争排除則の再検証. Gause のゾウリムシ類実験における性の影響. 基盤研究 (C), 令和 2 ~ 4 年度, 117 万円.

上町達也. アジサイにおける異形型の花弁状がく片の形成機構の解明, 基盤研究 (C) 平成 30 ~ 令和 2 年度, 令和 2 年度 70 万円.

3) 政府および地方公共団体 (関連法人を含む) からの補助金

清水顕史. ムーンショット型農林水産研究開発事業・サイバーフィジカルシステムを利用した作物強靱化による食料リスクゼロの実現, 2020 ~ 2029 年, 10 万円 (2020 年度分担分).

4) その他財団からの研究補助金

泉津弘佑. 新規殺菌剤ターゲットとして見出したタンパク質プレニル化機構の中心因子 Geranylgeranyl transferase の分子遺伝学的研究, 日本農薬学会研究奨励金, 令和 2 年度, 50 万円.

中川敏法. 薬用キノコ廃菌床の機能性を活用し

た高付加価値卵の生産技術開発. 一般社団法人ヤンマー資源循環支援機構, 令和 2 年度, 75 万円.

須戸幹. 非選択性除草剤を水辺やその近辺に繁茂する侵略的特定外来植物の駆除に用いた場合の水環境中での残留特性, 公益財団法人河川財団, 2019 年 4 月 ~ 2022 年 3 月, 100 万円 (3 年間)

5) 受託研究の受け入れ

畑直樹. 植物に与える刺激やストレスを加えた栽培・育成指導. 学術指導, 令和 1 ~ 2 年度, 55 万円.

畑直樹. 植物工場における二次代謝物増産栽培法の指導. 学術指導, 令和 2 ~ 3 年度, 55 万円.

入江俊一. 県内食用キノコの増収と品質保持及び機能性成分増量技術等の開発. 岐阜県森林研究所, 令和 2 年度, 40 万円.

皆川明子. 農業排水路に施工される環境配慮施設の維持管理労力節減に関する研究, いであ株式会社, 令和 2 年度, 100 万円.

高倉耕一. 特別天然記念物オオサンショウウオの緊急生息調査の結果についての統計分析. 兵庫県自然保護協会. 令和 2 年度, 25 万円.

10. 研究員の受入

高倉耕一. 寺本憲之 (客員研究員) (2020 年 4 月 1 日 ~ 2021 年 3 月 31 日).

高倉耕一. 畠佐代子 (客員研究員) (2020 年 4 月 1 日 ~ 2021 年 3 月 31 日).

高倉耕一. 宇津見七海 (客員研究員) (2020 年 4 月 1 日 ~ 2021 年 3 月 31 日).

11. 特許, 実用新案, 品種登録, 意匠, その他著作権に関わる事項

岩間憲治 (2020) 特許第 6504376 号, ゴルフ場グリーン用芝育成剤およびその製造方法.

12. 社会への貢献

1) 各種委員会

原田英美子. 滋賀県農林水産関係試験研究外部評価委員 (2020 年 4 月 ~ 2021 年 3 月).

入江俊一. 滋賀バイオサロン, 委員 (2020年4月～2021年3月).

入江俊一. 科学研究費補助金 2段階書面審査員 (基盤 (C)) (2018年).

岩間憲治. 「湖東平野地区」ICTモデル事業実証調査検討会, 委員, 2回, (2020年4月～2021年3月).

加藤恵里, 近畿農政局農村振興関係交付金評価委員会, 委員, 3回 (2020年7月～2021年3月).

皆川明子, 農林水産省二次的自然環境における生物多様性保全検討調査有識者員会, 委員, 2回 (2020年4月～2021年3月).

皆川明子, 農林水産省多面的機能支払交付金第三者委員会, 委員, 2回 (2020年4月～2021年3月).

皆川明子, 滋賀県農業・水産業基本計画審議会, 委員, 2回 (2020年4月～2021年3月).

皆川明子, 滋賀県土地利用審査会, 委員 (2020年4月～2021年3月).

皆川明子, 滋賀県環境影響評価審査会, 委員, 3回 (2020年4月～2021年3月).

皆川明子, 三重県環境影響評価審査会, 委員, 3回 (2020年4月～2021年3月).

大久保卓也. 滋賀県農林水産関係試験研究外部評価委員 (2019年9月～2021年8月).

大久保卓也. 水産多面的事業の知事特認に関する評価委員 (2018年4月～2021年3月).

大久保卓也. 近畿農政局水土里の環境創造懇談会委員 (2019年4月～2021年3月).

須戸幹. 水産動植物登録基準設定検討会 (環境省), 委員, 4回 (2020年4月～2021年3月).

須戸幹. 農薬残留対策総合調査水質農薬残留調査 (環境省), 検討委員, 2回 (2020年10月～2021年3月).

須戸幹. 水域における農薬の慢性影響評価に関する検討会 (環境省), 委員, 3回 (2020年4月～2021年3月).

須戸幹. PRTR非点源排出量推計方法検討会 (環境省), 委員, 1回 (2020年4月～2021年3月).

須戸幹. 近畿農政局農業農村整備事業等事業評価技術検討委員会, 委員, 2回 (2020年4月

～2020年3月).

須戸幹. 国営湖北土地改良事業計画樹立のための専門技術委員会, 委員, 2回 (2020年4月～2021年3月).

須戸幹. 赤野井湾流域協議会 (滋賀県), 委員, 1回 (2020年4月～2021年3月).

須戸幹. リサイクル製品認定懇話会委員 (滋賀県), 委員, 1回, (2020年4月～2021年3月).

須戸幹. 膳所高校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員, 1回 (2020年4月～2021年3月).

須戸幹. 栗東市環境センター運営協議会 (栗東市), 委員, 1回 (2020年6月～2022年5月).

高倉耕一. 京都市外来種チュウゴクオオサンショウウオ対策検討委員会委員, 1回 (2021年2月).

2) 学会貢献

畑直樹, 日本養液栽培研究会運営委員 (2020年4月～2021年3月).

飯村康夫. 日本腐植物質学会常任評議員 (2018年1月～現在).

岩間憲治. 農業農村工学会京都支部代表幹事 (2020年4月～2021年3月).

岩間憲治. 農業農村工学会代議員 (2020年4月～2021年3月).

泉泰弘, 近畿作物・育種研究会会計幹事 (2020年4月～2021年12月).

泉泰弘, 日本作物学会第251回講演会運営委員 (2020年12月～2021年3月).

泉津弘佑, 日本農薬学会誌編集委員 (2020年4月～2021年3月).

泉津弘佑, 関西病虫害研究会編集委員 (2020年4月～2021年3月).

加藤恵里, 「野生生物と社会」学会青年部会幹事 (2020年4月～2021年3月).

増田清敬, 地域農林経済学会編集委員 (2020年4月～10月).

増田清敬, 日本農業経済学会理事 (2020年6月～2021年3月).

中川敏法, 関西畜産学会評議員 (2020年4月～2021年3月).

<u>大久保卓也</u> . 日本水環境学会関西支部理事 (2019年4月～2021年3月).	なし
<u>清水顕史</u> . (2020) 近畿作物育種研究会庶務幹事.	3) その他
<u>清水顕史</u> . (2020) 一般社団法人日本育種学会代議員.	なし
<u>須戸幹</u> . 日本水環境学会水環境学会関西支部理事 (2019年4月～2021年3月).	
<u>須戸幹</u> . 日本農薬学会農薬環境科学研究会委員 (2019年4月～2021年3月).	
<u>須戸幹</u> . 環境技術学会理事 (2020年4月～2021年3月).	
<u>上町達也</u> . 園芸学会近畿支部評議員 (2020年4月～2021年3月).	
<u>高倉耕一</u> . 日本環境動物昆虫学会編集幹事 (2021年1月～2021年3月).	
<u>高倉耕一</u> . 日本環境動物昆虫学会編集委員長 (2020年4月～2020年12月).	
<u>高倉耕一</u> . 日本環境動物昆虫学会評議員 (2020年4月～2021年3月).	
<u>高倉耕一</u> . 日本環境動物昆虫学会理事 (2020年4月～2021年3月).	
<u>高倉耕一</u> . 関西自然保護機構編集委員 (2020年4月～2021年3月).	
<u>高倉耕一</u> . 関西病虫害研究会評議員 (2020年4月～2021年3月).	

3) 国際貢献

なし

4) その他

畑直樹. 大阪大学大学院工学研究科招へい研究員 (2020年4月～2021年3月).

大久保卓也, 皆川明子. 彦根市立城陽小学校課外学習講師 (2020年7月16日).

大久保卓也. 彦根市立亀山小学校課外学習講師 (2020年10月28日).

13. マスメディアとの対応

1) 新聞, 雑誌等からの取材による記事

なし

2) TV, ラジオ番組への出演等